

3学年保護者の皆様へ

県立新羽高等学校
校長 加藤 俊志

「生徒による授業評価」アンケート集計結果及び次年度へ向けての取組み
について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

このたび、12月に実施しました「生徒による授業評価」の集計結果及びその分析・検討を経て、授業改善の取り組みについて、お知らせいたします。

今後も、これをもとに、生徒の視点に立った、分かりやすく魅力ある授業づくりを目指し、継続的な授業改善に取り組んでいきたいと考えております。

本報告についてのご意見、ご感想等をお寄せいただけましたら幸いです。

問合せ先
学習推進グループ
森山、日野
TEL 045-543-8693
FAX 045-545-7794


1 アンケート内容

大項目	小項目	
授業の在り方について	1	毎時間の授業や単元(内容のまとめ)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある
	2	単元(内容のまとめ)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある
	3	単元(内容のまとめ)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある
学習の状況について	4	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた
	5	他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた
	6	授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた
	7	授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた

2 各項目に対し、「とても当てはまる」+「だいたい当てはまる」の割合[%]

【3学年】

教科			Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7
国語	現代文B	必修	91.2	90.8	91.2	87.4	89.6	89.3	87.7
	古典B	必修選択	100.0	100.0	100.0	89.2	89.3	89.3	89.3
	国語表現	自由選択	93.2	96.6	96.6	93.2	94.3	92.0	92.0
地理歴史	世界史B	必修選択	95.5	95.5	93.2	88.6	88.6	90.9	88.6
	日本史B	必修選択	77.5	66.9	69.5	77.5	72.9	74.2	80.6
	地理B	必修選択	94.5	94.5	94.5	91.6	88.9	88.9	91.7
	実践日本史研究	自由選択	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
公民	現代社会	必修	91.8	89.1	88.7	87.8	86.1	88.1	88.8
	政治・経済	自由選択	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	倫理	自由選択	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
数学	数学Ⅲ	必修選択	82.9	70.7	75.6	70.7	61.0	65.9	65.8
	数学一般	自由選択	94.7	84.2	89.5	89.5	89.5	94.8	94.8
	数学発展研究	自由選択	80.0	80.0	100.0	70.0	60.0	70.0	70.0
理科	物理	自由選択	80.0	80.0	85.7	70.6	71.4	68.6	67.6
	化学	必選・自選	98.0	98.0	96.0	96.0	94.0	94.0	96.0
	生物	自由選択	85.7	95.2	95.2	95.3	90.5	90.5	95.3
保健体育	体育	必修	90.4	89.9	91.4	93.5	89.2	88.6	93.0
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	必修	92.2	88.9	90.7	88.6	89.1	88.2	87.3
	英語表現Ⅱ	必選・自選	90.8	87.4	89.5	87.8	87.4	87.0	89.1
	実践総合英語	自由選択	85.7	92.8	92.8	92.9	85.7	85.7	78.5
専門教科家庭	発展保育	自由選択	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	フードデザイン	自由選択	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
総合	総合的な学習の時間	必修	88.2	87.9	88.2	89.8	88.2	88.5	89.4

※  は80%以上、▼は60%未満

3 教科における授業改善の取組み

【国語科】

適切な言語感覚の育成を図るため、言語による表現の機会を多く設定した。説明や話し合い等の協働学習を設定し、学習内容の定着を図る。小テストや成果物から、生徒の学習の定着度を把握し、実態に応じた課題の設定をする。

【地歴・公民科】

文章問題等にも取り組ませ、論理的思考力を養う。グループワークや発表等も必要に応じて取り入れる。

【数学科】

テンポよく授業を進め、問題演習の回数を増やす。また日々ノートの記入状況をチェックするなど、授業内評価の機会を設ける。

【理科】

生徒が自ら考えて楽しみながら学習するために、ペアワーク、グループワークの機会を増やす。実験を行う際も結果をグループで予想させて、考えを共有し合う時間を作り科学的に考える見方を身に付けさせる。

【保健体育科】

男女共通種目は選択となり、生徒によってより関心意欲が高まり、グループでの活動も自主的に取り組めた。スモールティーチャーも各種目で作ることができ教え合いの機会も多く作れた。

【芸術・家庭科】

調べる⇒話し合う⇒まとめる⇒発表する等、体験的な学習の機会を多く設定する。また、授業の終わりには、振り返りを行う等、授業の中で身に付いたことを実感できるようにする。

【外国語科】

生徒が英語を使って英語を学ぶためのサポートを行う。協働学習を利用し、スモールカンパゼーションやインフォメーションギャップアクティビティで生徒の知識欲を刺激できる活動を行う。